



# AUE News



2013年12月15日

第 74 号

編集・発行

愛知教育大学広報チーム

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500

## 目次

### ● 行事予定(12月16-1月15日)

### ● トピックス

- ・創基140周年記念講演会・記念展示
- ・国立教育系単科大学財務・会計部課長会議
- ・学生の地域貢献活動パネル展
- ・東海・北陸地区国立大学法人事務局長等会議
- ・ボールステイト大学訪問調査報告会

・「外国人児童生徒を軸とした多文化共生社会をめざす教育支援の構築」事業講演会

・第88回天文台一般公開

・第37回冬の子どもまつり

・ミュージカルサークル「ミュリム」公演

### ● お知らせ・報告・投稿

・第4回リベラル・アーツ Edu セミナー

・催しもの案内

## 行事予定(12/16-1/15)

16日(月) 経営協議会(14:00～ KKRホテル名古屋)

17日(火) 役員部局長会議(13:00～ 第五会議室)

個人情報保護委員会(役員部局長会議終了後、第二会議室)

18日(水) 教員人事委員会(16:40～ 第五会議室)

大学改革推進委員会(16:00～ 第五会議室)

24日(火) 役員会(13:00～ 第二会議室)

2014年

1月6日(月) 学長年頭のあいさつ(11:00～ 第五会議室)

7日(火) 役員部局長会議(13:00～ 第五会議室)

8日(水) 教務企画委員会(16:40～ 第二会議室)

学生支援委員会(16:40～ 第五会議室)

10日(金) 教員人事委員会(16:30～ 第五会議室)

14日(火) 役員会(13:00～ 学長室)

15日(水) 代議員会(13:30～ 第五会議室)

教育研究評議会(代議員会終了後、第五会議室)

## トピックス

### 創基140周年記念講演会(12/4)・記念展示(-12/25)

本学の創基140周年を記念して、ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英博士を迎えての講演会が12月4日(水)午後1時30分から講堂で開かれ、学生・附属高校生、教職員、一般など計1,000人が聴き入りました。

益川氏は現在、名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構長。松田正久学長のオファーを受けて、実現。「これからの教育と科学を語る」をテーマに、松田学長との対談形式で行われました。

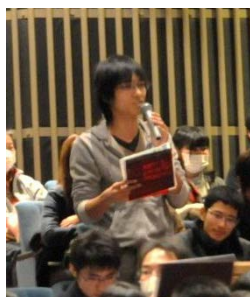
自身の幼少時代を振り返り「遊びの方が面白く、宿題はやらなかった。本が好きで、家でうろう



ろしていると家業を手伝わされるので、図書館によく通った」などとエピソードを披露。現在の教育について、「子どもは興味を持てば、いくらでもエネルギーを発揮できる。何かに夢中にさせる動機づけが大切だが、試験や学力で周囲がレッテルを張ってしまっている」と指摘し、「教育は憧れとロマン。

子どもは憧れを持って一步を踏み出し、壁にぶち当たりながら成長していく」と語りました。

会場の高校生からの勉強法についての質問には、「狙いを定め、一步一步、系統的に積み上げる学習方法を身につけてほしい」とアドバイス。学生からの「研究がうまくいかなくて挫折しそうな時は、どうしたらいいのか」との質問には、「私自身は挫折したことはない。挫折と思わずに、一つ一つの気づきを大切にすること」と答えていました。



また、話は戦争体験にも及び、「戦時中、我が家には焼夷弾がプレゼントされた。瓦を突き抜けて僕の目の前に落ちたが、不発弾で助かった」と話し、「虫も殺さぬような人が、相手の顔に近づいて狙い撃つのが戦争。憲法 9 条のお陰で日本は鉄砲を撃たない。9 条を変えてもらっては困る」と平和への思いも語りました。

講演は予定をやや上回る約 1 時間半に及び、最後は学生の代表者から感謝の花束が贈呈され、会場からの拍手に益川博士は笑顔で手を振って応え、ステージを後にしました。

\*

\*

創基 140 周年に関連し、附属図書館アイ♥スペースで記念展示が、12 月 25 日（水）まで開催されています。

本学の原点「愛知県養成学校」（1873〔明治 6〕年設置）から、現在までの記録の写真パネルなど約 70 点を展示。明治、大正、昭和時代の師範学校当時の建物や学び、学生生活の模様、卒業アルバム、名古屋と岡崎のキャンパスを刈谷市に移転・統合した昭和 45 年以前の井ヶ谷キャンパス建設などが紹介されています。



### 国立教育系単科大学財務・会計部課長会議(12/9)

「平成25年度国立教育系単科大学財務・会計部課長会議」が12月9日（水）、本学の当番により、東京都中央区で開催され、北海道教育大学など全国11の教育系単科大学から、財務担当部長、財務・会計課長及び予算決算担当係長等31人が出席しました。

本学の白石薫二財務・施設担当理事による開会あいさつの後、各大学の概算要求事項及び財務分析に関する情報の連携共有の方策、概算要求事項決定に至る学内実施体制、決算報告・財務分析の方法など、教育系単科大学共通の課題について活発な意見交換が行われました。また、



文科省高等教育局大学振興課教員養成企画室の君塚剛室長補佐による「教員養成の改革と充実等について」と題した講演が行われ、教育再生実行会議等の動向、教員養成の



現状と喫緊の課題について各大学が理解を深めました。

(財務企画課 財務企画担当係長 古川健)

### 学生の地域貢献活動パネル展(12/12-25)

本学学生の地域での貢献活動を紹介する「学生の地域貢献活動紹介パネル展」を附属図書館のアイ♥スペースで12月12日(木)から25日(水)まで開催しています。



子がうかがえます。

フォーラムの紹介も含めて17枚のパネルが賑やかに展示されていますので、ぜひ足を運んでください。

(教育創造開発機構運営課 地域連携担当 張山吉野)

パネルは昨年11月10日に開催された「地域連携フォーラム2012」及び今年11月9日に開催された「地域連携フォーラム2013」(地域連携センター 主催)で展示されたものです。

パネルは学生等がフォーラムで発表するために準備した資料を基に作成され、地域で生き生きと活動する様子



### 東海・北陸地区国立大学法人事務局長等会議(12/13)

本学が当番校として、12月13日(金)に「東海・北陸地区国立大学法人事務局長等会議」が本学大学会館2階中集会室で開催され、同地区の国立大学及び大学共同利用機関から事務局長等13人が出席しました。

冒頭、当番校を代表して、海外出張中の松田正久学長に代わり岩崎公弥理事があいさつを行いました。会議では、本学白石薫二理事・事務局長を議長に選出し、協議事項3件について意見交換を行いました。

協議事項の「東海・北陸ブロックにおける事務系幹部職員の人事交流に関する申合せ(案)について」(提案説明:名古屋大学竹下典行理事・事務局長)、「給与削減、退職手当の支給水準引下げ、55歳超の昇給停止等に伴う取組について」(同:静岡大学前田千尋理事・事務局長及び岐阜大学吉村泰治理事・副学長)、「平成27年度以降の概算要求に係る対応状況について」(同:本学白石理事・事務局長)について、熱心な意見交換が続き、最後に、次回は金沢大学を当番校として開催することを確認し閉会しました。

閉会後は、第一福利施設2階ハンズにて情報交換会が行われました。(総務課長 佐藤博之)



### ボールステイト大学訪問調査報告会(12/13)

12月13日(金)16時40分から第一共通棟303教室で教職大学院教員と事務職員によるボールステイト大学訪問調査報告会が開催され、教職員、学生約30人が参加しました。



教職大学院では本年度、特別経費プロジェクトで全国の教職大学院と海外調査を行い、教職大学院における「理論と実践の融合・往還」についての報告書をまとめます。報告会は本学の国際交流協定締結校であるアメリカ・ボールステイト大学の訪問調査(11月6~8日)を終え、本プロジェクトとアメリカとの大学運営の違いをぜひ知

ってほしいとの趣旨で企画されたものです。石井拓児准教授からはボールステイト大学の組織と運営について、倉本哲男教授からは大学院(MA, EdD, PhD)のプログラムについて、小笠原からは事務組織の運営について、宮下治教授から附属のバリス校、アカデミー視察について、中妻雅彦教授からはコミュニティースクール視察についてそれぞれ報告があり、質疑応答も行われました。



参加者からは「学部生よりも大学院生の人数が多いのはなぜか」「入学試験の出願書類の処理はどのように行われているのか」といった質問があり、会終了後には「アメリカの大学とこんなに違いがあるとは驚きました」「もっとたくさんの教職員に知ってもらってもいいのでは」などの感想をいただきました。参加者には、アメリカの会議で提供されるお菓子をイメージしたプチギフトをお持ち帰りいただき、とても好評でした。師走のお忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。  
(教務課 小笠原有香)



### 「外国人児童生徒を軸とした多文化共生社会をめざす教育支援の構築」事業講演会(12/14)

教育創造開発機構地域連携センター外国人児童生徒支援部門では、恒例となった講演会を12月14日(土)に開催しました。台風の影響で延期になっていた講演会でしたが、60人を超える方々にお集まりいただき活発な質疑応答が行われました。



今年度は、「外国にルーツを持つ子供たちの未来とともに考える」というテーマの下、2部構成で、第1部では、田巻松雄宇都宮大学教授から、「外国人児童生徒一将来の『下層』か『グローバル人材』か」という講演をしていただきました。第2部では、本学の卒業生、在学生から「ボランティア経験を通して考える子供たちの未来」というテーマで発表していただきました。

「外国人児童生徒を軸とした多文化共生社会を目指す教育支援の構築」事業は、今年度が3年目の仕上げの年となります。この中で私たちは、就学前から高校までを視野に入れた支援の在り方を現場の方々とかかわりながら考えてまいりました。その成果の一つが、『幼稚園・保育園ガイドブック』(ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語、英語版)です。外国人児童生徒支援リソースルームのホームページからダウンロードできるようになっています。ご利用いただき、ご意見をいただければ幸いです。来年度からも新たなテーマを設定し活動を継続してまいります。  
(日本語教育講座 准教授 上田崇仁)

### 第88回天文台一般公開(12/14)

本学天文台の第88回一般公開が12月14日(土)午後7時から、自然科学棟で開催されました。

この日は、ふたご座流星群のピークの日に当たり、天文ミニ講座では、「再び、流星群ってなに？」をテーマに、澤武文特別教授(理科教育)が、流星の性質を紹介。流星群が毎年同じ時期に起こる理由が、流星群を引き起こす彗星と地球の軌道が交わっており、軌道にまき散らされた微粒子の帯の中を、毎年同じ時期に地球が通過するためであること、このとき微粒子が地球に対して平行に飛び込んで来るため輻射点方向から四方八方に流れるように見えること、その輻射点の位置がある星座の名前が流星群の名前になっていることなど



を説明しました。

午後 8 時からの観望会では、最初は 40 cm 望遠鏡で木星を観察。雲が広がり見えなくなったため、目標を月に変えて、何とかクレーターを見ることができました。流星は南の空の晴れ間でしか見ることができなかったため、なかなか流れないようでしたが、時折、歓声が上がり、9 時ごろには厚い雲で覆われて、観望会は終了しました。



今回の観望会には 33 人が参加。4 年生を中心に 6 人の学部・院生の協力があり、無事に実施することができました。次回の一般公開は、1 月 11 日（土）の予定です。

### 第 37 回冬の子どもまつり(12/15)

「第 37 回冬の子どもまつり」が 12 月 15 日（日）、本学構内で開催され、720 人の子どもたちが来場、95 人の学生が参加し、ゲームやイベントを一緒に楽しみました。

この日は、晴天とはいえ、風が強く非常に寒くなりましたが、午前 9 時の受付開始前には、開場を待ちわびる親子連れや子どもたちが長い行列を作っていました。

子どもたちは、受付でもらったパンフレットや入場名札を首に掛け、開会式会場の第一体育館へ。9 時 40 分からの開会式では、子どもまつりの学生実行委員が落とし物や体調悪化、迷子、危険場所への立ち入り禁止の注意事項等を説明し、式終了



と同時に、実行委員の案内で子どもたちは、それぞれお目当ての企画がある会場へ向かいました。

第一共通棟の 1・2 階の教室、第一・第二体育館、第一共通棟と第二人文棟の間の中庭などでは、学生たちが子どもたちのために考えた巨大ぬいぐるみや人形劇、紙芝居、クリスマスのための折り紙やキャンドル作り、オカリナ教室、各種ミニゲーム、スタンプラリー、プレゼント抽選会など楽しい催し物が繰り広げられました。子どもた



ちの安全確保や会場案内のために屋外各所で警備についている学生は、体全体を毛布で包み、じっと寒さに耐えているのとは対照的に、子どもたちは外の遊び場でも寒さも気にせず、飛んだり跳ねたり、あちこちの会場へと元気よく走り回っていました。プレゼント抽選会のある閉会式には、再度多くの子どもたちが第一体育館へ集まり、4 体のぬいぐるみの“子まつりキャラ”も登場して、子どもまつりを最後まで盛り上げていました。



(学生支援課 課外教育担当係長 亀山重人)

### ミュージカルサークル「ミュリム」公演(12/15)

音楽選修・専攻 1、2 年生の有志によるミュージカルサークル「ミュリム」による公演が、12 月 15 日（日）、尾張旭市文化会館で開催されました。



ミュリムは、3 年前に当時の 1、2 年生有志がミュージカル上演のために結成し、公演は今回が 4 回目。今年の演目は 1937 年初演の名作「Me And My Girl」。1930 年代のロンドンを舞台に、下町で育った粗野な青年が伯爵家の後継者と分かり、貴族の当主になるべく教育を受けながら成長し、恋人との恋をかなえ

るという物語で、総勢 52 人でキャスト、演奏を担当しました。

脚色・振付には演出家の竹内裕二氏を迎え、音楽、芝居、踊りをはじめ、衣装や大道具・小道具の準備、メイクなどを、この日のために、ほぼ 1 年かけて準備を進めてきました。本番の舞台では、これまでの練習の成果を発揮して、息の合った歌や踊りで、来場者を魅了しました。



フィナーレの舞台あいさつで、代表の多久島理佐さん（音楽専攻 2 年）は「今年の公演から 1 年、多くの応援、さまざまな形でのご協力で、ここまでやってくることができました。ミュリムの仲間たちとの頑張りが、将来辛いことがあっても背中を押してくれると思います。（教員になった時も）子どもたちに明るく接していきたい。本日は、誠にありがとうございました」と涙を浮かべて語り、客席からは大きな拍手が贈られました。

## お知らせ・報告・投稿

### 第 4 回リベラル・アーツ Edu セミナー（報告）

11 月 28 日（木）の午後 4 時 40 分から 6 時 10 分まで、リベラル・アーツ・プロジェクト担当である高橋真聡教授（理科教育）による講演「よき市民のための？科学リテラシー」が教職員・学生対象に自然科学棟 538 教室で開催されました。「よき市民」は、大学の人材育成の理念として登場することが多い表現ですが、自然科学の中でどのように捉え直すことができるのか、日常生活に関わる事例を交えながらお話いただきました。セミナーにはプロジェクトメンバー 5 人に加え、学生 7 人（うち大学院生 1 人）が参加しました。



高橋教授は、人は単独では弱いため群れを形成、集団として行動するためのルールが作り出されたと、生物学的見地から「よき市民」という表現の含意を説明。科学技術が発展する社会では、ただ既存のルールに従うのではなく、情報を適切に収集してその妥当性を判断するなど、主体的に考える力を備えることがますます求められており、そのため、科学に関する知識を持つことに加え、観察や実験を通じて科学的な方法を備えて初めて、科学のリテラシーが備わったことになるという問題提起されました。仮説、検証、証明という一連のプロセスを体験することで、身近な問題に対しても、自分の仮説を証明する、その結果を自分なりに表現する力につながっていくと話されました。

大学で講義をする際には、問題提起をする、答えが一つではないことを認識させる、自分なりに考えを表現させる、この 3 点を特に意識しているそうです。参加者からは、学校教育の現場でどのように生かせるのか、科学の方法のエッセンスを教養科目の限られた時間で伝えることはできるのか等、その教育方法の難しさが指摘されました。

（教育創造開発機構大学教育研究センター リベラル・アーツ教育部門研究員 長谷川詩織）

## 催しもの案内

### ◆ UNO セレクション 「第 4 回あかりアートの世界」

開催中（12 月 23 日（月）まで）17：00～20：00 入場無料

刈谷駅前商店街ギャラリー「スペース A q u a」

宇納一公特別教授と彫刻研究室学生のあかり作品を展示。

22 日（月）16：00～18：00 本学アカペラサークルによるクリスマスコンサート開催

問い合わせ：刈谷駅前商店街振興組合 澤田さん

TEL 0 5 6 6 ・ 2 1 ・ 1 1 0 9

◆招へい教職員講演会（第3回）

12月17日（火）16：30～17：30 入場無料・予約不要

大学会館 中集会室

講演者：①鄧 慧好（Teng HuiYu）氏（台湾・彰化師範大学）

タイトル「国立彰化師範大学の交流プログラム」（発表言語：日本語）

②劉 徳華（Liu Dehua）氏（中国・湖南師範大学）

タイトル「Thoughts on relationship of education and society in the  
perspective of comparison」（発表言語：英語）

問い合わせ：教育創造開発機構運営課 国際交流担当

TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 1 7 9

◆理科実験プレ教員セミナー

12月28日（土）9：00～17：00 事前申し込み

自然科学棟

本学科学・ものづくり教育推進センター主催。来春から小学校教員になる学生のための  
理科実験セミナー。1講座のみの受講、3年生以下の学生も参加可能。

9：00～10：30 生物学実験講座 担当：澤正実教授

内容：顕微鏡の使い方

11：00～12：30 物理学実験講座 担当：岩山勉教授

内容：電流・電気単元の完全マスター

13：30～15：00 化学実験講座 担当：稲毛正彦教授

化学薬品と実験器具の取り扱いの基礎

15：30～17：00 地学実験講座 担当：澤武文特別教授

内容：月の満ち欠けの完全理解

申し込み・問い合わせ：理科教育講座 岩山教授

E-mail:tiwayama@aecc.aichi-edu.ac.jp

◆小中高英語教育教員研修会

12月21日（土）、22日（日） 10：00～16：30

第一共通棟3階

申し込み締め切り：12月19日（木）

申し込み先：小中英語支援室ホームページ

<http://www.aue-english.aichi-edu.ac.jp/>

問い合わせ：外国語教育講座 小中英語支援室

TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 2 4 5

◆文化系クラブ・サークル発表会「写真サークルによる写真作品の展示」

2014年1月8日（水）～1月31日（金）

附属図書館アイ♥スペース

問い合わせ：附属図書館 TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 6 8 1

◆愛知教育大学天文台 第89回一般公開

1月11日（土） 入場無料、事前申し込み不要

自然科学棟5階 地学538室

17：00～ミニ天文講座「天文・宇宙・何でも質問コーナー」講師・澤武文特別教授

18：00～観望会「小型望遠鏡による月と木星の観望会」

「3D宇宙の旅」上映会

問い合わせ：理科教育講座 天文学研究室

TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 6 2 4

<http://www.phyas.aichi-edu.ac.jp/~tenmon/>

## 編集後記



来年は午年とあって、先日、本学の馬術部が取材を受けました。50年以上の歴史のある同部は、現在は部員8人に馬6頭、犬2匹の所帯です。生き物がパートナーの部活動とあって、えさやりや厩舎の掃除で、活動日は365日。「誠実に向き合う」をモットーに、強い絆で結ばれています。そんな様子が、刈谷市広報誌「刈谷市だより」1月1日号に紹介されますので、どうぞ、見かけたから手にとってみてください。今年も残るところ2週間余ですが、来る2014年が皆さんにとって、愛教大にとって、飛躍の年になりますように！そして、また来年もAUE Newsを、よろしくお祈いします。(K) ヒヒ〜ン、ブルルル♪(=よいお年を♪)(馬)

### 【お知らせ】

AUE Newsは今号が2013年最終号。次号(第75号)の発行は、2014年1月15日付けとなります。なお、1月6日には、「学長年頭あいさつ」を掲載した特別号を発行する予定です。

### 投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:[kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp) 編集責任者:総務担当理事 折出 健二